

平成 28 年度 第 2 回能勢町子ども・子育て会議  
～議事録～

日 時：平成 28 年 12 月 20 日(火) 10:00～12:15

会 場：能勢町保健福祉センター 2 階 多目的室

出席者：小島会長・樺山副会長・中橋委員・八木委員・畠委員・三浦委員・中谷委員・  
市村委員・萱野委員・後藤委員・齋藤委員・太田委員・伊木委員

【計 13 名】

傍聴者：3 名

事務局：上森町長

健康福祉部 渡瀬健康福祉部長・古畑福祉課長・西村保育所長

大植福祉係長・藤原社会福祉士・岩崎福祉係主事

教育委員会 瀬川教育次長

次 第：1. 開会

司会：古畑課長

2. 議事

議長：小島会長

(1) 子どもの生活に関する実態調査について

(2) 子どもの生活に関する実態調査結果を踏まえた今後の施策展開  
について

(3) その他

3. 閉会

司会	<p>皆さま、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、只今より平成 28 年度第 2 回能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきます。</p> <p>なお本日は、藤本委員、宇佐美委員より欠席のご連絡をいただいておりますので報告いたします。</p> <p>それでは開会にあたり、小島会長より一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>大変お忙しい中、委員の皆様方には第 2 回能勢町子ども・子育て会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>只今から第 2 回能勢町子ども・子育て会議を始めさせていただきます。</p> <p>第 1 回会議の際には、子どもの貧困等々が課題になっておりまして、能勢町の子どもの実態もいろいろな形で調査をし、大阪府内と比較をすることで実際の能勢町の子ども達の姿が出てくるのではないかと説明がありました。</p> <p>本日は、2 学期の初めに行われた子どもの生活に関する実態調査の結果に基づきまして、皆様とともに考える機会であると思います。</p> <p>たくさんのご意見を出し合ってくださいまして子ども達の幸せにつ</p>

	<p>いて、またこれは子ども達だけでなく、私たちの将来の幸せにも繋がる話でありますので共に考えてまいりたいと思います。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>小島会長、ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、本日能勢町長が参っております。</p> <p>ここでお時間を頂き、ご挨拶を兼ねまして町長の子育て施策に対する思いを申し上げさせていただきたいと思います。</p> <p>上森町長、よろしくお願いいたします。</p>
町長	<p>改めましておはようございます。</p> <p>平素から児童福祉施策の推進に対し、委員の皆様にはご尽力いただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。</p> <p>少子化と高齢化の問題は一つの問題のように扱われていますが、少子化と高齢化は違う視点で取り組んでいかなければならないと選挙の折にも言っていました。</p> <p>高齢化は現在の延長線上の問題であり、少子化というものは、これまで人類が経験したことのない未知の問題だと思っています。</p> <p>そのことを踏まえて考えますと、我が国が直面している最大の課題は人口減少ではないかと思っています。</p> <p>子どもに対する親の負担や親に対する子どもの負担が増大して、子育て世代が子どもを産むという選択が出来にくくなっているのではないのでしょうか。</p> <p>現状の保育制度が抱える問題、教育に係る問題など、様々な複合要素があると思いますが、やはり今何が出来るか、何をすべきなのか、実行できるところから取り組んでいかなければならないと思っています。</p> <p>私としては町内の資源は非常に少ない中ではありますが、子ども子育て施策を重点的に取り組むことによって、私たちの意識を変えていくことが必要であると考えています。</p> <p>一朝一夕で出来るものとは思っておりませんが、この場から意見を頂き、出来るところから始めることによって、この町の持続性を高めていきたいと思うところです。</p> <p>本会議において、いろいろなご意見を頂戴して、子育て施策に反映してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>町長ありがとうございました。</p> <p>なお、上森町長については公務の都合によりここで退席とさせていただきます。</p>
委員	<p>町長に質問がありますがよろしいでしょうか。</p>
町長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>私はこの会議のあり方に疑問を感じております。</p> <p>年3回、各2時間程度の会議にて能勢町の子ども子育てに関する全てが決まるというのは見過ごすことが出来ません。</p> <p>今回、意見書を提出させてもらいましたが、町長がこれからの子育て</p>

	<p>施策に力を入れていきたいと考えられているなら、会議の開催回数の見直しやメンバーについても集まりやすい方で構成すべきではないかと考えています。いかがでしょうか。</p>
町長	<p>会議の持ち方は様々あると思いますが、会議を開いたからすべてが解決すると言うものでもありません。</p> <p>いろいろな場所でご意見を聞くこともできます。</p> <p>おっしゃるとおり、会議とは別で何か話し合う場を設定してもいいと思いますし、どんどんご質問いただければと思います。</p> <p>また、会議というものは一定の制約があり、全ておっしゃるとおりに出来ないこともあると思いますが、それは事務局と調整して頂ければと思います。</p>
委員	<p>是非、会議が増やせるように予算なども検討していただきたいです。</p>
町長	<p>他の委員の方もいろいろご意見があると思います。</p> <p>会議を開くことが目的ではございませんので、会議の中でご意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>(町長退席)</p>
司会	<p>それでは、案件に入る前に資料の確認をさせて頂きたいと思います。</p> <p>(資料確認)</p> <p>なお、本会議は公開会議となっております。</p> <p>また、議事録についても会議終了後に能勢町ホームページにて公開させていただくため、録音させていただきますので、予めご了承ください。</p> <p>それでは、会議の進行につきましては、能勢町子ども・子育て会議設置条例第6条の規定により、会長をお願いいたします。</p> <p>では、小島会長よろしくをお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、案件①子どもの生活に関する実態調査について事務局より説明をよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>(能勢町子どもの生活に関する実態調査(単純集計)結果説明)</p> <p>(大阪府子どもの生活に関する実態調査(単純集計)結果説明)</p>
会長	<p>大阪府と能勢町の実態調査結果のうち、特徴的な部分について説明がありました。ご質問等ございましたら、よろしくをお願いいたします。</p>
委員	<p>能勢町の実態調査結果に記載されているマッチング部分については、全体回答より回答数が少ないがどのようにして算出されたものか説明いただきたいです。</p>
事務局	<p>始めに説明するべきでしたが、マッチング欄に計上している数字は能勢町の実態調査結果の回答のうち、子ども・保護者がともに答えている対象者を挙げています。回答数の差は子ども・保護者のどちらかしか回答していない対象者がいるためです。</p> <p>マッチングを行った意味は、今後クロス集計を行う際に子どもの回答と保護者の回答についてマッチング部分で集計するためです。</p>
委員	<p>マッチング部分のみでクロス集計を行うのでしょうか。</p>
事務局	<p>子どもと保護者の回答を参照する場合はマッチング部分の結果で集</p>

	計します。
会長	<p>全体とマッチング部分とでは回答数に差はありますが、家庭として分かること、子どもだけで分かることがあり、その上でクロス集計を行うことでより実態を把握するためにこのような集計をされていると思います。</p> <p>他に質問はご質問ありませんでしょうか。</p>
委員	<p>今回のアンケート結果について、事前に資料を配布してもらっていますが、短い期間で会議までに膨大な資料を読み解き、質疑を行うのは難しいと思います。</p> <p>最低、1週間前には資料を送付してもらいたいです。</p>
会長	<p>集計や結果を踏まえて会議資料を作成されており、事務局も忙しいとは思いますが、出来る限り早めの送付を私からも事務局へお願いするところ です。</p>
委員	<p>一日にどれくらいの時間、読書をするかという設問について、漫画・参考書・教科書は含まないとあります。</p> <p>学校の図書館には伝記でも漫画調の本があると思いますが、漫画調の伝記については、読書に含まずに漫画としてカウントされるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そこについては、回答している児童の捉え方次第です。設問にはそこまで細かい線引きがされていません。図書室にあるから漫画に含まないと考える児童もいると思われ ます。</p>
委員	<p>確かに漫画調の伝記の方が児童には読みやすいと思うところもあります。学校関係者にお聞きしますが、いつを境に漫画調の本が図書室に多く入るようになったのでしょうか。</p>
会長	<p>現在の子供たちの中では漫画も読書の範囲に入っていて、漫画を読むことが読書のスタートとなっている子どもも居ると思います。</p> <p>小・中学生がアンケートに答えています、その際に漫画や漫画調の伝記はどう扱うのか質問があったのでしょうか。</p> <p>まずは、小学校の方で何かありましたらお答えいただきたいと思いま す。</p>
委員	<p>まず、漫画の取扱いについては、アンケートを回答している子どもから質問があったとは、教員から聞いていないので、把握していません。</p> <p>次にいつ頃から図書室に漫画調の伝記等が導入されたかについては、新聞の印字が小さいポイントから大きなポイントへ変化した頃が過渡期ではないかと考えています。</p> <p>新聞のポイントの変化した頃から活字離れが懸念されるようになって、漫画がタイトルについている伝記や歴史書、科学書が一気にあふれたのではないかと感覚的ではありますが感じています。</p> <p>調査中に漫画の取扱いについて、子ども達から問い合わせが無かったことは、おそらく子ども達は漫画調の伝記等は読書の範囲に含まれていると認識しているのではないかと予想します。</p>

会長	<p>ご説明ありがとうございました。今の委員の説明の中に我々も納得できる部分もありましたが、中学校ではどう考えているかお答えいただけませんかでしょうか</p>
委員	<p>自分の過去を振り返ると小学校時代には既に漫画調の本やコバルト文庫等の読みやすい本は図書室にあったと記憶しています。</p> <p>漫画調の本自体は、古くからあったと思いますが、学校へは文化として入ってはいませんでした。</p> <p>その後、テレビの浸透による読書離れを懸念した教員が読書につながる本を入れてきた結果、漫画調の本が学校へ入ってきたのではないかと考えています。</p>
会長	<p>読書離れについては何十年前から教育界・家庭での課題であったと思いますが、昔は漫画とは悪いものであるという風潮があったため、図書室には漫画を入れないという時代もありました。</p> <p>時代が流れて、興味・関心を持つような図書室を作ろうとしたところから今のような形になったのではないかと考えられます。</p> <p>今回の質問に対して私が推察しますと、漫画的な本は図書室にあるので、子ども達の中では読書にあたるというように認識しているのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は図書室に漫画調の本を置くことを否定しているつもりはなく、小学校の図書室に手塚治虫の漫画が置かれていると知った時には感心しました。</p> <p>また、漫画調の伝記等についても漫画形式だから読みやすい、面白いと手に取って読んでいる子どももいると思います。</p> <p>私は子ども達の中で漫画調の本も読書に含んでいるかが知りたかったところです。</p>
会長	<p>今の時代であれば、おそらく読書に含まれているのではないかと思います。</p> <p>学校の図書室にも子ども達の興味・関心を惹くような本がたくさんあり、子ども達の中では普通の読書に含まれていると考えます。</p> <p>他に質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>今回、子どもの生活実態調査を行いました。調査以前から小・中学校の先生については実態について把握していると思います。</p> <p>今回、出てきた結果についてどのように思われていますか。</p>
会長	<p>今回の子どもの生活実態調査の結果を見て、何か感じることもあるかというご質問ですが、小学校からお答えいただけませんかでしょうか。</p>
委員	<p>学校で給食費・教材費等の諸費は銀行口座から引落しをしており、引落しが滞る家庭については一定数報告があります。</p> <p>その点を踏まえて調査結果を見てみると、なるほどと感じるような結果もあります。</p> <p>近隣市町でも似たような傾向が出ており、諸費の滞納をしている家庭の子どもの実態も近隣市町の教員との情報共有の中で出てきています。</p>

	<p>ただ、本町の滞納家庭の数が他に比べて極めて多いというようなことは感じていません。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、中学校よりご説明願います。</p>
委員	<p>今学期末に諸費が徴収できなかった保護者に対して面談を行うことを予定していましたが、払ってもらえるようになったのが中学校の現状です。</p> <p>実際に就学支援を受けている方が多いとは思いますが、毎日登下校の様子を見守っていると学校に入ってくる保護者の車には立派なものが多いと感じます。</p> <p>家計的にしんどい家庭や諸費が滞っている家庭は把握していますが、登下校の様子を見ていても全くそのようには見えません。</p> <p>持っているものも良いものを持っており、経済的に厳しいと言われていたのに何故そのようなものを持っているのかということを感じています。</p> <p>教育委員会に在籍していた時はデータ上で理解していましたが、実際にはそう見えない家庭が多く、データと現場の差を感じました。</p> <p>府の調査結果についても回答率が低いことから、私は実態とかい離れた結果になっていると考えています。</p> <p>そのため、能勢町の結果と府の結果を比較するよりは、町の結果を深く読み解くことが必要ではないかと考えます。</p> <p>例えば、能勢町はこんなに自然に恵まれているのに、自分の体や気持ちで気になることがあるかという設問に「イライラする」と回答した子どもが結構いますが、どのような児童や家庭に多いのか等、気になることがあります。</p> <p>また、4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果においては、勉強が分かると答えた能勢町の子どもの比率は全国平均より高い結果となっています。</p> <p>ただ、この府内の集計結果と比べると低く見えてしまいます。それを踏まえた上で、分からないと答える子どもはこれだけいるのだなと町の課題を認識するべきではないかと思えます。</p>
会長	<p>小・中学校の現場から見た意見を伺いました。</p> <p>アンケートについて、母集団をどのように設定したかによっても見え方が違うと思いますし、大阪府全体を見ながら能勢町の子どもの実態を話してもらうことで見えてくることもたくさんあると思います。</p>
委員	<p>今の回答は、数字と現場とでかい離があるということでしたが、クロス集計や過去の学力テストでのアンケート結果などを見た上で、次回は小グループに分かれて議論できればと考えています。</p>
会長	<p>能勢町の子どもの実態をより深く見ることや見る幅を広げることも必要と思われます。その際には、小グループでの集団討論も方法としてあります。</p> <p>また、小・中学校だけでなく保育所や幼稚園の先生方の話を聞くこと</p>

	<p>で子ども達の実態をより知ることが出来ると思います。 他にご意見ございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>今のことについてですが、今回クロス集計が間に合わず、単純集計のみの資料となっております。12月下旬にクロス集計が出て来ますので、先程の委員の意見を踏まえて能勢町の子どもをしっかりと見て、分析や次に繋げる施策の構築に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>子どもの貧困とはよく言われていますが、経済的なことのみが貧困ではなく、人とのつながりや勉強できる環境の有無も含まれます。</p> <p>裕福であっても人とのつながりが少なければ子どもにとっては貧困に含まれることを、国も能勢町も認識しています。</p> <p>こうした点については、クロス集計が出てくればもう少し見られるのではないかと考えています。</p> <p>今後のスケジュールについては、後程ご説明させていただきますが、次回にはクロス集計を踏まえたものを皆さんにお示しさせていただき、ご意見をいただきたいと思っております。</p>
会長	<p>小・中学校の現状につきましてご説明いただきましたが、このアンケートには認定こども園、保育所が含まれておりますので、認定こども園と保育所からもアンケート結果についてお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>漫画は現在の子どもにとっては必須と言っても過言ではないのかと思います。</p> <p>また、世帯の経済状況の話が出ていましたが、それは家計における優先順位の問題ではないかと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして、保育所では如何でしょうか。</p>
事務局	<p>本の話ですが、私が子どものころには既に図書室には漫画はあったように記憶していますが、時代的には漫画に対して引け目を感じていた頃でした。私も子どもにとって漫画は興味を持ちやすいものではないかと思っています。</p> <p>保育所には0歳(57日目)から就学前の6歳児まで通所していますが、通所している子ども達は親との愛着形成が出来る時間が短く、そのため、保育所では絵本の時間や保育士とのふれあいの時間を大切にしています。</p> <p>また、保育所を利用される方の中には、保育料を滞納されている方もいます。生活の苦しい方は日々の話を聞いて把握していますが、保育料の優先順位が低い方もいるのではないかと思うところではあります。保育所から保護者へアプローチをして、もっと保護者に近寄ってもらえる保育所づくりに励んでいるところです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>もっと議論をしたいところではありますが、時間の関係上、案件①の質疑についてはこれで終わらせていただきます。</p> <p>それでは、案件②子どもの生活に関する実態調査結果を踏まえた今後の施策展開について事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	(子どもの生活に関する実態調査結果を踏まえた今後の展開説明)
会長	<p>案件②子どもの生活に関する実態調査結果を踏まえ、今後町としてどのような展開をしていくか、子どもを貧困からどう守っていくのか。</p> <p>調査結果と現場の現実も踏まえながら「子どもが創る明るい未来推進事業」の具体化につなげていきたいと今の説明であったと思います。</p> <p>他に国の施策等が出ておりますが、事務局からの説明を聞いていただきましたので、委員の方で質問やこうあるべきとの考えがありましたら、只今から質問やご意見をいただきたいと考えております。</p>
委員	<p>現状の子ども・子育て支援制度は多子家庭の保護者への理解が薄いと考えています。</p> <p>多子家庭の母親の中には、子どもの面倒を見るために家から離れられず働きに出ることが出来ない方もいます。</p> <p>世帯に子どもが多くても新制度では、就労等の要件を満たしていなければ保育所等の施設に預けられないので、そこはおかしいと思います。</p>
会長	制度の落とし穴についてのご意見ですね。
事務局	<p>新制度へは平成 27 年度より移行しましたが、新制度では施設利用には認定を受ける必要があり、その認定は市町村が実施します。</p> <p>ただし、新制度に移行しても幼稚園児・保育園児という分け方に変化はありません。</p> <p>町の保育所の利用については、保護者の就労・出産（産休、育休含む）、他の家族の介護や看護、保護者が病気になり保育が困難となった場合等の要件に当てはまれば利用していただけます。</p> <p>多子世帯の母親の苦労は理解していますが、子ども数が多く、面倒が見られないので保育所に入所させたいということでは新制度でも入所基準に合致しません。</p>
会長	他に質問はありませんでしょうか。
委員	<p>資料③の標題に課題と記載されているが、課題だけでなく子ども達の実態が出てきているので課題として括ることは不適切ではないでしょうか。</p> <p>また、課題となっているので、マイナス面が多く挙がっていますが、今回の結果を丁寧に分析する必要があります。</p> <p>おそらく、能勢町の良いところも見つけてくださっていると思いますので、良いところを伸ばすという視点も必要です。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>事務局が今後説明をする際にプラス面・マイナス面のみならず、皆さんに安心感を与えるようなことにも触れていただくと頑張る意欲がわいてくると思います。</p> <p>その他には質問はありませんか。</p>
委員	私も課題という書き方には疑問があります。就労形態や大学進学率について、府の結果より低いという書き方では悪いことと捉えてしまいます。書き方を変えると言われましたが課題と結果、傾向を分けて考えつ



	つ、丁寧に書くべきではないかと思えます。
会長	<p>集計から見た結果を事務局がまとめていますが、これを見ると負のイメージとして捉えることが多いとの意見ですね。</p> <p>結果を読み替えることで形は変化します。集計は集計で構いませんが、人間の持つ心の優しさ、暖かさを持って見つめることでよりよい結果、答えを得られると思えます。</p> <p>その他、ご意見などございませんでしょうか。</p>
委員	<p>提案の中に学校のプラットフォーム化がありますが、つながりに関する仕組みづくりはほぼ出来ているものの効果が薄いと感じています。</p> <p>理由としては、幅広く取り組んでいたため効果的な運用が出来ていないことがあります。</p> <p>国や府教委が仕組みづくりを推進しており、大切さは理解しているものの能勢町には能勢町のやり方があるのだなと実感しました。</p> <p>現在、中学校で力を入れていきたいことは、子どもと地域とのつながりを作ることです。</p> <p>中学生を一人の大人として行動させたいと考えています。もっと大人扱いしても良いのではないかと思いますし、地域の方とももっとつながって欲しいと思っています。</p>
会長	<p>学校・家庭・地域をつなぐ仕組みづくりについて、学校からは形は出来ているが子ども達との関わりの中で、地域・社会との繋がりが十分出来ていないように思うという意見でした。</p> <p>冒頭の町長の言葉にも、出来ることを出来る人からやればよいとありましたが、能勢町で大切なこと、プラスなこと、マイナスなことを整理しながら能勢町版学校家庭地域づくりの仕組みを作り、上手に制度に乗せることが出来ればと思うところであります。</p> <p>その他、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>今回の実態調査の結果に関して、未就学児の保護者回答が反映されていません。幼稚園・保育所の関係者もいらっしゃいますので、次回のクロス集計の結果とともに出していただければ議論が出来るのではと思います。</p>
会長	事務局、いかがでしょうか。
事務局	<p>未就学児の調査を行ったところは府内でも少ないため、先に就学児童の結果を優先して集計しています。次の会議の時には、未就学児の結果を報告させていただきたいと思っております。</p> <p>前回会議の際に副会長からソーシャルキャピタルがあるところで過ごす健康にも良いとの意見を頂戴しましたが、その点が先程の皆様の意見に繋がるのではないかと思います。</p> <p>今ある資源を有効活用した事業展開で次年度以降から反映できるものを具体的な形で出させていただこうと考えています。</p> <p>今回の集計結果を学校や園の中で先生同士が話し合っていたいただき、町の実情とどのような差異があるのか一度見てもらい、次回の会議に意見</p>

	<p>として持って来て頂ければと思います。</p> <p>お忙しいのは分かっておりますが協力して頂ければ大変ありがたいところですよ。</p>
会長	<p>皆様から沢山のご意見を頂戴致しました。</p> <p>今回の議論を踏まえて、次回、もう少し調査から見えてきたことについて報告いただけるものと思います。</p> <p>それでは、案件③その他についてに移りたいと思います。</p> <p>その他について皆様から何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>直接この会議には関係ないことではありますが、先日の町制施行 60 周年事業の際に小学 5 年生が音楽発表をしましたが、子ども達の服装は統一感がなく少々残念でした。</p> <p>服装については、学校から何も指示なかったと聞いており、統一した方が良かったのではないかと思います。</p>
会長	<p>その発表というのは、どのようなものですか。</p>
事務局	<p>11 月 23 日に町制施行 60 周年記念式典が行われました。</p> <p>その中で小学 5 年生の有志により音楽発表があり、そのことについてのご指摘と思われまふ。</p>
会長	<p>服装について何か指示があればより良い式典発表となったのではないかと意見でした。</p> <p>また、参考にさせていただければと思います。</p> <p>その他、ご意見などありませんでしょうか。</p> <p>先程、事務局より案件②の説明の中で今後の取り組み等について、説明がありましたが、事務局より具体的な時期などありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>本日配布した資料の中に委員からの意見書がございますが、本日はお配りさせて頂くだけになることは、事前にご本人に了解済みです。</p> <p>意見書の中には本日発言していただいた意見もあれば、事務局から補足して説明した事柄も入っておりますので、またご覧いただければと思います。</p> <p>先程の意見の中で、委員全員で話し合うと人数が多く発言しにくいこともあり、ワークショップ形式で実施してはどうかとの提案がありました。</p> <p>次回はクロス集計や就学前児童の保護者の結果も踏まえて事務局側から具体的な施策や事業について案を提示させて頂きたいので、グループに分かれて討論をしていただければと事務局は考えておりますが、会長はじめ委員の皆様方は如何でしょうか。</p>
会長	<p>次回会議では、小グループで話し合って全員が意見を出せるような場を設けたいとの提案でした。</p> <p>様々な会議でこのような形式を取られることが多くなりましたので、まずやってみることも大切ですが、委員の皆様反応を見ますと反対という方もいらっしゃるようです。</p>

	<p>多くの意見を収集し、まとめることで実現に向けて取り組むとは大切だと思しますので、次回会議では試みてみましょう。</p> <p>その他、ございませんでしょうか</p>
事務局	<p>今後のタイムスケジュールについては、2月の中・下旬頃に第3回の会議を設けたいと考えております。</p> <p>保護者の皆様におきまして、保護者の中で話になっていることやこうしたら施策が繋がるのではないかという意見等があれば次回会議の際に頂戴したいところであります。</p>
会長	<p>次回は2月開催とのことです。</p> <p>委員の皆様には、様々な場において住民の皆さんの意見等を聞いていただければと思います。</p> <p>次回については最終的な集計も出ていると思われるので、出来ましたら次回は少し早目の資料送付をお願いします。</p> <p>その他に皆様から意見はございませんでしょうか。</p> <p>意見が無いようですので、閉会のあいさつとまとめを副会長にお願いしたいと思います。</p>
副会長	<p>本日は皆様の様々な意見を聞き、勉強になりました。</p> <p>また、資料を見ているだけでもこれだけのデータをまとめるのは大変苦労されたことと思います。</p> <p>その資料の中で気付いたことがあります。</p> <p>貧困の問題について実態があまり感じられていないという意見もありましたが、実際には貧困には2種類ありまして、1つが絶対的貧困でもう1つが相対的貧困です。</p> <p>皆様が考えられているのは、絶対的貧困ではないかと推測します。</p> <p>絶対的貧困とは、食べ物もなく日々の生活にも困るといふ発展途上国に見られる経済的な貧困を指しています。</p> <p>現在の日本で課題となっている貧困とは、相対的な貧困を指しています。</p> <p>具体的には、社会全体の中で貧困状態であるという状態を表しており、先進国で多く言われています。格差のある状態だと相対的な貧困が大きくなると言われています。</p> <p>国内での相対的な貧困の割合は、6人に1人と世界と比較しても高いものとなっています。</p> <p>何故、相対的な貧困が問題なのかと申しますと、人と比べてチャンスに恵まれない、十分に願いを叶えられない状態が続くと自己肯定感が低くなり意欲が失われていきます。</p> <p>そのような方々へのサポートが必要であり、町がチャンスを作り出すことも大切ですが、同時に意欲作りも大切です。</p> <p>制度的な支援のみだけでなく、ソフト面でのアプローチも行っていくべきかと考えました。</p> <p>配布資料を十分に読み解けてはいませんが、現時点では能勢町内には</p>

	<p>格差があまり無いのではないかと推測しています。</p> <p>一度、相対的貧困率を統計的に算出してみてもどうかと思います。</p> <p>また、委員よりイライラしている子どもの話がありましたが、家庭にいる親も子育てに対してイライラしている場合があり、親も自分の子育てについて褒めてほしい状況もあります。</p> <p>子育てに非常に熱心な方や周囲にサポートしてくれる環境がない方、パートナーが忙しく子育てを手伝ってもらえない方にイライラしやすい傾向が出ていますが、サポートを感じられると安心されることもあります。地域ぐるみで子育て支援に取り組めるまちづくりをすれば良いのではないかと考えています。</p> <p>今回のクロス集計では、どのような状況に対して保護者はイライラを感じているのかが分かると思います。</p> <p>本日は本当にお疲れ様でした。</p>
事務局	<p>長時間にわたりまして、貴重なご意見たくさんいただきありがとうございました。</p> <p>頂戴した意見につきましては、福祉係の方でいろいろな事業を考えていきたいと思っておりますので、終了後も皆様からの意見をお待ちしております。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>